

令和2年度 マーブル 部の指導方針等と実績について

1 指導体制

顧問氏名		外部指導員氏名	資格等や経験
主顧問	山縣 睦美		
副顧問	小見川 茂登子		
副顧問	酒井 正明		
副顧問			

2 年間目標

(1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像	集団の一員としてより良い生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育て、在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う生徒。
(2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標	実生活でもいかせるよう、手芸技術や調理技術を高める
(3) 地域貢献等の特色ある目標	子ども食堂のボランティア等を通じて、地域に貢献する。

3 指導方針

(1) 技術や技能, 体力の向上	安全に針・刃物・火器を扱えるように配慮する。
(2) 公式戦や発表会への積極的な参加	部員一人一人が活動できるように配慮する。
(3) 他校との合同練習、練習試合、校外活動の設定	集団で協力して活動できるようにこまめに連絡をとりあう。
(4) 部加入率の維持、増加	無理のない範囲で活動計画を立て、実行する。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導	生徒の自主性を尊重する。問題が生じた場合は、速やかに対処する。
(2) 生徒間の暴力禁止	生徒の自主性を尊重する。問題が生じた場合は、速やかに対処する。
(3) 外部指導員の活用	なし
(4) 事故防止・安全配慮	安全に針・刃物・火器を扱えるように配慮する。難易度の高い作業をする場合は、事前に説明を実施し、事故防止に努める。

5 主な年間計画

	月	内 容
1 学 期	4	仮入部 活動開始 ボランティア活動（子ども食堂）
	5	
	6	
	7	
	8	
2 学 期	9	手芸を中心とした活動の検討 通常活動 通常活動 通常活動
	10	
	11	
	12	
3 学 期	1	通常活動 通常活動 通常活動 新入部員に向けた準備
	2	
	3	

6 活動日・活動場所

曜日	月	火	水	木	金	土	日
活動 場所					家庭科室		

7 公式戦・大会等の実績（令和元年度）

--